２０２６年（令和８年）　３月２５日　水曜日

東奥日報　１面　掲載

光星 14年ぶり8強

滋賀学園を5―4

▽2回戦

滋賀学園（滋賀）	0	0	1	1	0	2	0	0	0	4
八学光星	0	1	1	1	0	0	1	1	×	5

第98回 センバツ高校野球

第98回選抜高校野球大会（センバツ）は第6日の24日、兵庫県西宮市の甲子園球場で1、2回戦3試合を行った。第3試合で本県の八戸学院光星は滋賀学園を5―4で破り、準優勝した2012年以来14年ぶりとなる8強入りを果たした。

【詳報16、17面、夢舞台 両親に見せられた27面】

八学光星は4―4の同点で迎えた八回、敵失や四球などで1死一、二塁とすると1番菅沼晴斗が左前に適時打を放ち、勝ち越しに成功した。

投手陣は先発の岩崎賢成が4回2失点と試合をつくり、4番・指名打者（DH）で先発出場していたエース北口晃大が五回から登板。六回に2失点したものの、自己最速となる147キロの直球と変化球を織り交ぜ、追加点を与えなかった。

八学光星は大会第9日の27日、第1試合（午前8時半開始予定）で、4強入りを懸けて中京大中京（愛知）と対戦する。

（棟方好華、撮影・千葉康之）

【滋賀学園―八学光星】14年ぶりのベスト8進出を決め、駆け出す八学光星ナイン＝24日、兵庫県西宮市の甲子園球場

東奥日報社提供

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです